



なが ほし ひか 流れ星はどうして光るの

りゅうせいぶっしつ たいき 流星物質が大気とこすれあうから

なが ほし ひか あいだ ねが こと ねが こと つた
流れ星が光っている間に願い事をする、願い事がかなうといういい伝えがあります。
しかし、なが ほし ひか じかん びょう
しかし、流れ星が光っている時間は、1秒もあるかないかで、あっという間に消えてしま
い、ねが こと
い、願い事をするのはむずかしいようです。

は ひ くら よぞら なが ほし み くうき
晴れた日の暗い夜空をながめると、ときどき流れ星を見かけます。空気がすんでいる、
やま うみ そら おお なが ほし み
山や海の空では、もっと多くの流れ星を見ることができます。

なが ほし ぶっしつ りゅうせいぶっしつ りゅうせいぶっしつ すな
流れ星のもとになる物質を、流星物質といいます。ほとんどの流星物質は、砂つぶのよ
うにちい うちゅう
うに小さな、宇宙のちりです。

りゅうせいぶっしつ ちきゅう たいき なか はい くうき
このような流星物質が、地球のまわりにある大気の中に入ってくると、空気がこすれあ
っておんど たか ひかり だ なが ほし
って温度が高くなり、光を出します。これが流れ星です。

なが ほし ひか りゅうせいぶっしつ くうき あいだ ひかり だ なが
流れ星が光るのは、流星物質が空気とこすれあっている間、光を出しながら流れてい
るからです。

せい りゅうせいぶっしつ ち すい星から、流星物質がまき散らされる

せい せい たいよう ちか なが ひ なか
ハレーすい星などのすい星は、太陽に近づくと、長い「お」を引きます。「お」の中には、
りゅうせいぶっしつ
流星物質となるちりが、たくさんふくまれています。

せい きどう うご みち ちきゅう よこぎ りゅうせいぶっしつ ちきゅう
すい星の軌道（動いていく道すじ）を、地球が横切ると、たくさんの流星物質が地球に
しょうとつし、りゅうせいぐん み
しょうとつし、流星群が見られます。（監修・国司 真）

